

あとがき

また水虫患者が増える時期になってきたが、治療してもちっとも水虫が治らないと訴える患者がいる。そして一番問題なのは、誤診していた医師は、大学病院などの皮膚科にいる医師も含まれていることである。このことから皮膚科医にとって最も基礎的な手技となる直接鏡検が、日本皮膚科学会認定専門医主研修施設でも必ずしも適切に行われていないという実態が浮かび上がってくる。直接鏡検のやり方やどこから検体を採取すると真菌を発見しやすいかは、皮膚科に入局した際に、先輩から学ぶが、現在多くの大学病院では、皮膚真菌症の手ほどきができる医師が極端に少なくなっている。もし医局内に直接鏡検を教育、指導できる人がいなければ、その教室出身者はだれもまともな直接鏡検をできないことになり、ひいては適切な皮膚真菌症治療ができなくなる。実際には以下のようなことが起こっているのではないかと想像される。つまり真菌症を主訴に来院した患者がいれば、皮膚科医であれば直接鏡検をする。しかし検体を採取する部位を知らないと、真菌がいないところから検体を採取することもある。そして顕微鏡を覗いていると、真菌と紛らわしいものが、真菌に見えてくる。その結果、真菌陽性と患者に説明し、抗真菌薬を処方する。真菌症であれば、よくなるので、やはりあれは真菌要素だったと確信するようになるが、皮膚真菌症でなければ、よくならない。患者さんからクレームが来ると、「水虫はなかなか治らないから」などと説明して納得してもらう。しかし爪白癬の場合は状況が異なる。爪白癬と診断した以上、治療は経口抗真菌薬である。経口抗真菌薬は副作用や相互作用もあるし、薬価も高い。さらに治療効果は患者にもわかるため、治らない場合は患者からクレームが来る。それだったら、経口抗真菌薬の副作用が怖いと説明して、外用抗真菌薬でお茶を濁したほうがよいと考える皮膚科医も出てくる。このようなことを繰り返すうちに、真菌感染症患者を適当にあしらう術が身に付くようになる。研修医時代は直接鏡検所見の見方を人に聞くこともできるが、ある程度の年齢となると、今さら直接鏡検ができないとは言えないのが人情である。いずれにせよ皮膚科医が皮膚真菌症の診断ができなくなったら、皮膚科医としての存在意義を失ってしまう。なぜならば、確定診断もせずに水虫治療をするのであれば、薬局で薬をもらうのと同じであり、また非皮膚科医との差別化ができなくなる。日本皮膚科学会は早急にこの対策を講じなければならない。(渡辺 晋一)

〔編集委員〕

瀧川 雅浩
伊藤 雅章
塩原 哲夫
渡辺 晋一
中川 秀己
石河 晃

学会・研究会のお知らせ掲載

皮膚科関連学会・研究会のお知らせを無料で掲載いたします。開催期日(演題募集がある場合は締切日)の3か月前までに本誌編集室までお寄せください。

臨床皮膚科 (第67巻 第7号)

2013年6月1日発行(毎月1回1日発行)

定価 2,940 円(本体 2,800 円+税 5%)

(2013 年年間購読料

冊子版 40,390 円 冊子+電子版/個人 45,390 円

冊子+電子版/共有 51,500 円

電子版/個人 40,390 円 電子版/共有 46,500 円

増刊号を含む 13 冊・税込・送料小社負担

(担当:小松原・安部)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5715

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: rinshifu@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2013. Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複製・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- 「COPY」(社)出版者著作権管理機構 委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床皮膚科」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinshifu/>